

平成29年度 4月～7月

戦争体験を聞く会

開催月日	語り部（戦争体験者）のお名前・生年など	タイトル・主な内容
4月 16日（日）	こもり しょうじ 小森 章次 さん (大正12年生まれ、東近江市在住)	「八日市飛行場とともに・・・」 大正12年に御園村に生まれ、幼いころより八日市飛行場とかかわりを持たれている中、八日市航空分廠に就職。当時航空分廠で経験されたことがらや終戦後、御園村役場に就職され、農地委員会で飛行場跡の区画整理に携われたときのことなどをお話いただけます。 企画展示関連講演
5月 14日（日）	ふじかわ せいいちろう 藤川 誠一郎 さん (大正15年生まれ、東近江市在住)	「農業・農村から見る滋賀の戦後」 昭和17年12月に長浜農学校を繰り上げ卒業し、その後神崎郡農会に就職。農業技術員として軍用ウサギや牛肉を軍に収める仕事をされる。そして、昭和19年、神崎農学校の新設により教員として5年間教壇に立たれるなど、当時経験された数々のことがらをお話いただけます。
6月 11日（日）	みずなみ たけし 水波 堯 さん (昭和5年生まれ、彦根市在住)	「内湖干拓の勤労働員を経て予科練へ」 昭和19年冬、旧制彦根中の生徒として松原・入江内湖干拓事業に動員された時のことや翌年5月に入った予科練で終戦までの本土決戦のための訓練をするなど、戦中、戦後に体験された様々なことがらをお話いただけます。
7月 16日（日）	いそだ みのる 磯田 稔 さん (大正15年生まれ、大津市在住)	「8月9日のソ連軍侵攻からシベリア抑留へ」 今年2月の戦争体験を聞く会で、満州・要塞守備隊としての過酷な体験をお話いただいた磯田さんに再度お越し願ひ、ソ連軍侵攻からシベリアに抑留・引揚げされるまでに体験された様々なことがらをお話いただけます。 企画展示関連講演

開演時間は各回とも、13時30分（終演時間は15時ごろ）



今年1月22日（日）の戦争体験を聞く会より

- ・若い世代の私たちが戦争を知ることに意味があると思います。少しでも周囲に広げられたらと思っています。
- ・語り部の方が年々少なくなる中で、つらい思い出や体験を聞かせていただくことはとても価値のあるものだと感じました。（これまでの会の参加者の感想より）

- ・場所は各回とも研修室です。
- ・事前申し込みは不要です。
- ・参加費は無料です。

会場：滋賀県平和祈念館（東近江市下中野町431番地）

お問い合わせは、滋賀県平和祈念館まで

電話：0749-46-0300 ファックス：0749-46-0350 メール：heiwa@pref.shiga.lg.jp